

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 6 月 22 日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 遠野市上郷町板沢9-19-1

氏 名 株式会社栄組
代表取締役 佐々木栄洋

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0198-65-3032

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 栄組
事業場の所在地	岩手県遠野市上郷町板沢9-19-1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	5,000万円
③ 従業員数	39人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	●アスファルトがら、コンクリートがら→委託処理施設にて保管→破碎→再生品作成→買い取り業者へ販売、再利用 ●木くず→委託処理業者にて粉碎処理 ●がれき・陶器類、廃プラスチック→委託処理業者にて分別→破碎→セメント工業などで再利用、または埋立 ●廃石膏ボード→委託処理業者にて分別→破碎→石こうと紙に分別→リサイクルとして土木工事で再利用 ●石綿、アスベストなど→成分を検査→許可運搬業者に運搬依頼→許可処理業者へ処理を依頼

(日本産業規格 A列4番)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

会長・社長(廃棄物管理責任者)

現場代理人(廃棄物管理責任者)

総務(産業廃棄物担当者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず、コンクリート廃材類、がれき類、廃プラスチック、その他	
	排出量	1,619.89 t	t
	（これまでに実施した取組） ・リサイクルをしている処理業者へほぼ100%排出、RC-40は排出処理を依頼した先から購入しリサイクルを実施 ・優良企業ないし、格付基準適合（☆～☆☆）の企業を率先して契約利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず、コンクリート廃材類、がれき類、廃プラスチック、その他	
	排出量	1,500.05 t	t
	（今後実施する予定の取組） 第5面参照		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・委託処分業者先は、リサイクル循環を図っている企業である。また格付（基準適合☆～☆☆）を選ぶ ・処分業者へ持っていく前に再度分別が出来ているか、余分な積算がないか再確認
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・優良企業、格付（基準適合☆～☆☆）の企業を、積極的に利用していく

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず、コンクリート廃材類、がれき類、廃プラスチック、その他	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず、コンクリート廃材類、がれき類、廃プラスチック、その他	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら再生利用する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず、コンクリート廃材類、がれき類、廃プラスチック、その他	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら中間処理は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず、コンクリート廃材類、がれき類、廃プラスチック、その他	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら中間処理する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず、コンクリート廃材類、がれき類、廃プラスチック、その他	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.08 t	t
	（これまでに実施した取組） ・手作業、ユニック車を利用（運搬許可業者に依頼）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず、コンクリート廃材類、がれき類、廃プラスチック、その他	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.05 t	t
	（今後実施する予定の取組） 第5面参照		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず、コンクリート廃材類、がれき類、廃プラスチック、その他	
	全処理委託量	1,619.89 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,599.15 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,619.81 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	t
	（これまでに実施した取組） ・処分業者は再利用を導入している企業であること、優良企業、または格付（企業適合）業者であることを選考対象とする。 ・RC40:18 tは排出先より購入し再利用した		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず、コンクリート廃材類、がれき類、廃プラスチック、その他	
	全 処 理 委 託 量	1,500.05 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1,500.05 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,500.05 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者、及び再利用業者への委託を100%を維持する。 ・排出したアスファルト廃材をRC40として処理委託業者より購入を推進し再利用を実施させる。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(産業廃棄物の種類: 全体)

排出した産業廃棄物の合計量を記載してください。

有償物量

不要物等発生量

排出量	①	1,619.89	t
		1,500.05	

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

自ら直接 再生利用する量	②	t
-----------------	---	---

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	③	t
-------------------------	---	---

自ら中間処理 する量	④	t
---------------	---	---

④のうち熱回収 を行う量	⑤	t
-----------------	---	---

自ら中間処理した 後の残さ	⑥	t
------------------	---	---

自ら中間処理によ り減量した量	⑦	t
--------------------	---	---

自ら中間処理した後 再生利用する量	⑧	t
----------------------	---	---

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	⑨	t
	0.08	
	0.05	

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	⑩	t
	1,619.89	
	1,500.05	

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑪	t
	1,599.15	
	1,500.05	

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	⑫	t
	1,619.81	
	1,500.05	

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑬	t
------------------------	---	---

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭	t
---	---	---

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	1,619.89 1,500.05
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.08 0.05
⑩全処理委託量	1,619.89 1,500.05
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,599.15 1,500.05
⑫再生利用業者への処理委託量	1,619.81 1,500.05
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 0.00

(産業廃棄物の種類:

木くず

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量

不要物等発生量

排出量
①
14.82 t
10.00 t

数値は、
上段：前年度実績
値

自ら直接 再生利用する量
②
t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量
③
t

項目	前年度実績 今年度目標値
①排出量	14.82 t 10.00 t
②+③自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	14.82 t 10.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.74 t 10.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.82 t 10.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理した後 再生利用する量
⑧
t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量
⑨
t

自ら中間処理した 後の残さ
⑥
t

自ら中間処理 する量
④
t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦
t

④のうち熱回収 を行う量
⑤
t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量
⑩
14.82 t 10.00 t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑪
13.74 t 10.00 t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量
⑫
14.82 t 10.00 t

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑬
t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
⑭
t

(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。

有償物量

不要物等発生量

排出量

①	1,582.86	t
	1,462.00	

数値は、
上段: 前年度実績
値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	1,582.86	t
	1,462.00	
②+③自ら再生利用を行った量	18.00	t
	18.00	
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	1,582.86	t
	1,462.00	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,563.20	t
	1,462.00	
⑫再生利用業者への処理委託量	1,582.86	t
	1,462.00	
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接再生利用する量

②		t
---	--	---

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

③		t
---	--	---

自ら中間処理する量

④		t
---	--	---

④のうち熱回収を行う量

⑤		t
---	--	---

自ら中間処理した後の残さ

⑥		t
---	--	---

自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分する量

⑦		t
---	--	---

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩	1,582.86	t
	1,462.00	

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪	1,563.20	t
	1,462.00	

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫	1,582.86	t
	1,462.00	

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬		t
---	--	---

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭		t
---	--	---

⑧自ら中間処理した後の再生利用する量

⑧	18.00	t
	18.00	

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有価物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用する量

自ら中間処理した後
再生利用する量

排出量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

自ら中間処理した後
埋立処分又は
海洋投入処分する量

数値は、
上段：前年度実績
値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	3.98	t
②+③自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	3.98	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.98	t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.98	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら中間処理した
後の残さ

自ら中間処理
する量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

自ら中間処理によ
り減量した量

④のうち熱回収
を行う量

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

3.98

t

3.00

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量

不燃物等発生量

排出量
①
18.15
15.00
t

数値は、
上段:前年度実績
値

自ら直接 再生利用する量
②
t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量
③
t

自ら中間処理した後 再生利用する量
⑧
t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	18.15 15.00 t
②・⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③・④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	18.15 15.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.15 15.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	18.15 15.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理 する量
④
t

自ら中間処理した 後の残さ
⑥
t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量
⑨
t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦
t

直接及びび自ら 中間処理した後の 委託処理量
⑩
18.15
15.00
t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑪
18.15
15.00
t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量
⑫
18.15
15.00
t

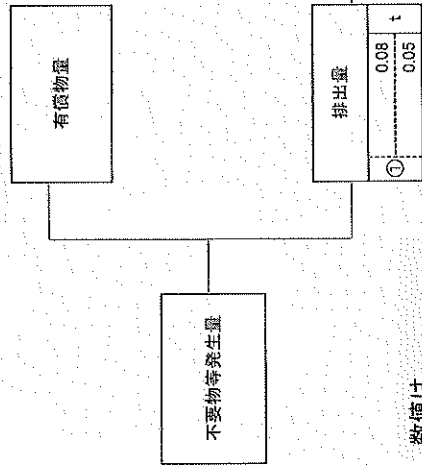
⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑬
t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
⑭
t

(産業廃棄物の種類:

それ以外)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください



数値は、
上段：前年度実績
値

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	0.08 0.05 t
②+③自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.08 0.05 t
⑩全処理委託量	0.08 0.05 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.08 0.05 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.08 0.05 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら直接 再生利用する量	t
②	

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	t
③	

自ら中間処理 する量	t
④	

自ら中間処理した 後の残さ	t
⑤	

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	0.08 0.05 t
⑥	

自ら中間処理によ り減量した量	t
⑦	

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	0.08 0.05 t
⑧	

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	0.08 0.05 t
⑪	

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	0.08 0.05 t
⑫	

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	t
⑬	

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	t
⑭	